

事業番号	16 01 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	登山者の安全確保事業	部局	警察本部	課・室	地域部				
		実施期間	S29 ～	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減								

### 1 現状と課題

- コロナ禍ではあるものの、山岳遭難が大幅に増加しており、アウトドアレジャーの代表である登山が注目を浴びる中、準備や経験の不足した登山者による遭難が増加傾向にあり、県観光部等関係機関と連携した効果的な遭難防止対策の推進が必要不可欠である。
- 遭難者の安全確保及び救助隊員の二重遭難防止のために、活動の安全性と密接に関連する救助資機材の更新、訓練や講習を通じた救助技術の向上は必要不可欠である。

### 2 事業目的

長野県内を訪れる登山者に対して、県警山岳遭難救助隊及び各警察署山岳高原パトロール隊、各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

#### ①山岳パトロール等による登山者に対する安全指導の実施

- ・ 県警山岳遭難救助隊及び山岳高原パトロール隊が、大型連休時等に登山口等において 常駐、山岳パトロール活動を行い、タブレット端末等を活用し登山者に直接安全指導を実施

#### ②各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員と連携した救助訓練の実施

- ・ 救助活動で連携が必要不可欠な各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員を対象に県警山岳遭難救助隊と合同で救助技術研修会、救急法研修会を実施

#### ③山岳遭難救助隊の高度化

- ・ 救助活動の安全に直結する装備品の更新整備
- ・ 外部団体や企業が主催する救助関係講習の受講を通じ、更なる山岳遭難救助隊の高度化を推進

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する										長野県内を訪れる登山者の安全を確保するため、遭難救助に関わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図り、遭難救助及び遭難防止対策を強化する必要がある。
②											
③											
④											
⑤											




### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	13,204	0	13,204	8,227	12,989	-
R3年度	0	12,283	0	12,283	8,701	12,054	-
R2年度	0	15,415	0	15,415	13,148	13,647	-

事業番号	16 01 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	登山者の安全確保事業		部局	警察本部	課・室	地域部

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>①山岳パトロール等による登山者に対する安全指導の実施</b></p> <p>県警山岳遭難救助隊及び山岳高原パトロール隊が、登山者の集中が見込まれる春の大型連休や夏山、秋の紅葉期間中に、登山口や山中等において常駐及び山岳パトロールを実施し、現地で登山者へ直接安全指導を実施。令和4年中、県警山岳救助隊は北アルプス、八ヶ岳連峰、中央アルプス等の高山において延べ185日、山岳高原パトロール隊は県下の里山等を中心に延べ73日パトロールを実施し、登山者の安全確保に努めた。</p>	
<p><b>②各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員と連携した救助訓練の実施</b></p> <p>県下13地区遭対協において、令和4年中は、40回の救助訓練を行い、うち26回は警察署と合同で実施したほか、県遭対協救助部(警察本部山岳安全対策課)が主催する救助技術研修会を6月、11月、2月の3回開催し、12地区から救助隊員が参加した。また、13地区中、3地区において県警ヘリとの合同訓練を行い、救助活動において連携が必要不可欠な各地区遭対協救助隊と連携を強化することができた。</p>	
<p><b>③山岳遭難救助隊の高度化</b></p> <p>安全かつ迅速な救助活動を行うため、救助活動で多用するロープレスキュー装備品や雪崩等の危険の伴うバックカントリー遭難対策装備の更新・整備を行うことで、救助活動時の安全性の向上を図ることができた。また、外部団体が主催するファーストエイド講習や救助技術講習の受講を通じ最新の知見とノウハウを習得することで、救助隊全体の救助技能の向上を図ることができた。</p>	

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する	R3年度推移	R4年度推移	達成状況
令和4年はコロナ禍以降最多の284件の山岳遭難が発生したが、警察官は1529人、遭対協は431人が出動したほか、県警ヘリは130件の遭難に出動し、110人を救助・収容するなど、安全かつ迅速的確に救助活動を行い登山者の安全を確保した。				
指標②		R3年度推移	R4年度推	達成状況
指標③		R3年度推移	R4年度推	達成状況
指標④		R3年度推移	R4年度推	達成状況
指標⑤		R3年度推移	R4年度推	達成状況

## 8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年はコロナ禍以降最多の284件の山岳遭難が発生し、再び増加傾向にある。遭難者310人のうち、道迷いや疲労、技量不足等により救助要請し、無事救助された遭難者は129人で遭難者の4割を占めている。これらの遭難は、適切な情報発信や現地指導により登山者を安全な方向へ導くことで抑止が期待できるため、現地指導や情報発信等の強化が必要不可欠。</li> <li>○ 近年の山岳遭難は発生山域や時期が分散化し、冬季のバックカントリーなどその態様も多様化している。これら多様化する山岳遭難に的確に対応するためには訓練を通じた技能向上と活動の安全性に直結する装備品の継続的な更新・整備が必要不可欠。</li> </ul>
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年はコロナ禍以降最多の284件の山岳遭難が発生し、310人が遭難するなど再び増加傾向にある。山岳パトロール等を通じた現地での直接指導は、登山者へ与えるインパクトや遭難防止対策の観点からも極めて効果的な活動であることから、引き続き体制を確保して取組を継続する。また、昨今の登山者はSNS等から登山情報等を入手していることから、これらの媒体を通じた遭難防止に資するタイムリーな情報発信についてもタブレット端末等を活用して取組を強化する。</li> <li>○ 多発する山岳遭難に安全かつ迅速的確に対応するため、警察、遭対協、消防等関係機関との連携を強化するとともに、効果的な訓練により技能向上を図り救助活動に不可欠な装備品の更新整備を計画的に推進する。</li> </ul>

事業番号 16 01 04 **細事業一覧（令和4年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	<b>登山者の安全確保事業</b>	部局	警察本部	課・室	地域部
-----	-------------------	----	------	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>山岳遭難救助活動経費</b>	13,647 千円	12,054 千円	12,989 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	山岳遭難救助活動経費	直接 負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北アルプス等主要山岳地帯での常駐パトロール、遭難防止啓発活動の強化等</li> <li>・県警救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品の整備</li> <li>・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関わる経費、救助装備品の購入経費等の負担金</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県警山岳遭難救助隊による北アルプス等主要山岳地帯で常駐パトロールを延べ185日実施</li> <li>・県警救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品を更新整備</li> <li>・長野県山岳遭難防止対策協会救助部主催の救助訓練を6月、11月、2月の三回開催したほか地区遭対協救助隊の装備品の購入経費を補助</li> </ul>